

■ 国際ビジネス

SMFGでは、三井住友銀行の国際部門を中心に、内外の企業、金融機関、各国政府・公営企業等の、グローバルに事業展開するお客さまに対して地域特性に応じた付加価値の高いサービスの提供に努めています。

三井住友銀行は、アジア・米州・欧阿中東の3地域を軸に、世界各地において、グループ会社や海外現地法人とも連携し、常に最先端の情報とサービスを提供できるグローバルな商業銀行を目指します。

Topics

◆ 海外ネットワークの拡充

三井住友銀行では、グローバルに事業展開するお客さまへの現地でのサービス向上や、新興国・成長市場へのアプローチを強化するため、海外ネットワークの充実を図っています。平成27年4月には、今後の成長が期待されるミャンマーで、外国銀行として初めて認可を取得したヤンゴン支店、9月には同様に成長が見込まれるフィリピンにマニラ支店を開設しました。世界中にますます広がるネットワークを活かし、お客さまのグローバルなビジネス展開をサポートしていきます。

開業年月	国	開設拠点
H27.4	ミャンマー	ヤンゴン支店
H27.9	フィリピン	マニラ支店

◆ アジア地域における取り組み強化

「アジア・セントリック」の実現に向け、三井住友銀行では、新興国・成長市場における地場銀行との関係強化を進めています。

平成27年3月に香港の東亜銀行へ追加出資して出資比率を17.50%相当に引き上げた一方、平成27年9月には経済成長が著しいカンボジアにおいて、同国最大手の銀行であるACLEDA Bank Plc.の株式を追加取得し、保有比率を18.25%として、ともに持分法適用会社となりました。

◆ 米・GEグループからの欧州における貸出資産の取得について

平成27年9月にGEグループから欧州の非日系中堅企業を対象とした貸出資産を取得しました。本件により、欧州の非日系企業の取引基盤を強化・拡大していくとともに、日本やアジアとの商流をとらえたトレード案件、日系企業とのクロスボーダー M&A 案件の捕捉を通じて、引き続き業務拡大とポートフォリオの多様化を図っていきます。

■ 市場性取引ビジネス

SMFGは三井住友銀行の市場営業部門において、資金・外国為替・債券・デリバティブ等の取引を通じ、高度化・多様化するお客さまの市場性取引ニーズにお応えし、より付加価値の高いサービスの提供に努めています。

お客さまの市場性取引ニーズに合わせたソリューション提案やサービスの拡充

市場営業部門では国内外のネットワークを通じ、相場環境の変化を踏まえた各種ヘッジスキーム等さまざまなソリューションを提供しています。また、市場性取引の利便性を向上すべく「i-Deal (インターネットを通じた為替予約等の締結システム)」の機能向上を継続的に行っています。今後も引き続き、お客さまのニーズに万全にお応えし、業界最高水準のサービスでフルサポートしていきます。

ALM・トレーディング業務

市場営業部門ではALM (アセット・ライアビリティ・マネジメント) 業務を通じ、貸出金等の資産、預金等の負債のバランスを総合的に調整することにより、健全な資産負債運営と安定的な収益確保に取り組んでいます。

また、トレーディング業務においては、金利、外国為替、コモディティ等、さまざまなプロダクトのエキスパートを擁することにより、グローバルな金融市場の動向を的確にとらえ、収益の極大化を図っています。

Topics

◆ 新興国通貨取引におけるお客さまニーズに対応

クロスボーダー取引におけるお客さまの幅広いヘッジニーズに応えるべく、新興国通貨建ての為替予約や資金効率化スキームの充実を図るなど、幅広い提案に努めています。また、アジア・中南米にフォーカスした相場動向・通貨規制に関するレポートの発信や、アジア拠点駐在アナリストによる新興国経済・相場動向に関するセミナーの開催等を通じて、お客さまへの情報提供にも積極的に取り組んでいます。

◆ インターネットを通じた外国為替取引サービスの拡充

既に1万8,000社を超えるお客さまに「i-Deal」をご提供し、お客さまの利便性向上に取り組んでいます。市場実勢取引については、お客さまの要望が強かった人民元の取り扱いを平成26年3月から開始し、現状9通貨に対応しています。また同年6月には、お客さまの指値注文にお応えするリーブオーダー機能を強化しました。

今後も、お客さまの取引ニーズにきめ細かく対応し、サービスの向上に努めていきます。